

令和2年度 学校評価について

令和2年12月に生徒、保護者、教職員を対象にクラッシーでアンケートを行った。それぞれの質問に対し、「あてはまる」、「ややあてはまる」、「ややあてはまらない」、「あてはまらない」から該当するものを選択していただいた。

「あてはまる」、「ややあてはまる」という回答の合計を「肯定的な回答」ととらえ、合計が80%以上の場合は赤、60%未満の場合は青で示した。

【生徒】（総回答者数383）

質問内容	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない	肯定的
教育目標の達成に向けて充実した学校生活を送っている。	36.0%	54.8%	5.7%	3.4%	90.8%
学校はいじめや暴力のない安全・安心な場所である。	69.3%	23.4%	6.3%	1.0%	92.7%
人権を意識した教育活動が行われている。	48.2%	41.7%	7.6%	2.6%	89.9%
学年の教育活動が計画的に運営されている。	42.2%	47.7%	7.6%	2.6%	89.9%
学級の教育活動が学校生活充実のために工夫されている。	40.1%	48.4%	9.6%	1.8%	88.5%
悩みや不安に親身になって相談にのってくれる。	47.8%	40.7%	7.8%	3.7%	88.5%
学校行事等が円滑に運営されている。	54.0%	36.6%	7.8%	1.6%	90.6%
校内の美化と清掃が徹底されている。	35.5%	43.9%	16.4%	4.2%	79.4%
P T A や同窓会と連携した活動が計画的に行われている。	33.2%	47.9%	16.6%	2.4%	81.1%
シラバス等に基づいて適切な授業が行われている。	42.9%	46.9%	7.3%	2.9%	89.8%
学習指導（授業・課外講習）に満足している。	32.6%	45.7%	16.7%	5.0%	78.3%
生徒のニーズに応じた授業改善に取り組んでいる。	28.0%	49.5%	17.3%	5.2%	77.5%
共感的理解に基づく指導や支援が行われている。	35.2%	50.4%	11.3%	3.1%	85.6%
生徒が相談しやすい教育相談体制が整備されている。	35.6%	44.0%	16.8%	3.7%	79.6%
生徒会・委員会・部活動が活発に行われている。	58.5%	36.3%	4.4%	0.8%	94.8%
生徒一人ひとりに応じた進路指導や講習が行われている。	44.6%	43.3%	10.7%	1.3%	87.9%
生徒への進路に関する情報提供が適切である。	49.5%	41.6%	7.9%	1.0%	91.1%
ポートフォリオ等を活用し学習活動を深めている。	38.1%	42.5%	15.0%	4.5%	80.6%

【保護者】（総回答者数 208）

質問内容	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない	肯定的
教育目標の達成に向けて生徒が充実した学校生活を送っている。	39.4%	50.5%	8.2%	1.9%	89.9%
学校はいじめや暴力のない安全・安心な場所である。	55.8%	37.0%	5.3%	1.9%	92.8%
生徒に育みたい資質や能力について地域社会と共有している。	22.1%	59.1%	15.9%	2.9%	81.2%
学年の教育活動が計画的に運営されている。	30.6%	58.7%	9.7%	1.0%	89.3%
学級の教育活動が学校生活充実のために工夫されている。	32.2%	58.5%	8.8%	0.5%	90.7%
生徒・保護者の悩みや不安に親身になって相談にのってくれる。	25.7%	56.8%	12.6%	4.9%	82.5%
学校行事等が円滑に運営されている。	30.4%	49.8%	16.4%	3.4%	80.2%
校内の美化と清掃が徹底されている。	34.6%	54.1%	9.3%	2.0%	88.7%
P T A や同窓会と連携した活動が計画的に行われている。	24.6%	56.2%	17.2%	2.0%	80.8%
シラバス等に基づいて適切な授業が行われている。	27.4%	60.7%	10.9%	1.0%	88.1%
学習指導（授業・課外講習）に満足している。	28.2%	52.4%	17.5%	1.9%	80.6%
生徒のニーズに応じた授業改善に取り組んでいる。	23.5%	54.4%	19.6%	2.5%	77.9%
共感的理解に基づく指導や支援が行われている。	23.0%	61.3%	13.7%	2.0%	84.3%
生徒・保護者が相談しやすい教育相談体制が整備されている。	22.3%	51.9%	19.4%	6.3%	74.2%
生徒会・委員会・部活動が活発に行われている。	48.1%	45.9%	5.8%	0.5%	94.0%
生徒一人ひとりに応じた進路指導や講習が行われている。	24.9%	57.6%	13.7%	3.9%	82.5%
保護者への進路に関する情報提供が適切である。	22.8%	49.0%	21.4%	6.8%	71.8%
ポートフォリオ等を活用し学習活動を深めている。	21.4%	57.2%	17.4%	4.0%	78.6%

【教職員】（総回答者数 27）

質問内容	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない	肯定的
教育目標の達成に向けて生徒に育みたい資質や能力について理解して取り組んでいる。	85.2%	14.8%	0.0%	0.0%	100.0%
スクールコンプライアンスが徹底されている。	70.4%	25.9%	3.7%	0.0%	96.3%
人権を意識した教育活動が行われている。	74.1%	25.9%	0.0%	0.0%	100.0%
学年の教育活動が計画的に運営されている。	70.4%	22.2%	3.7%	3.7%	92.6%
学級の教育活動が学校生活充実のために工夫されている。	66.7%	29.6%	3.7%	0.0%	96.3%
生徒が自ら考えるような道徳の指導が行われている。	44.4%	51.9%	3.7%	0.0%	96.3%
学校行事等が円滑に運営されている。	55.6%	33.3%	11.1%	0.0%	88.9%
校内の美化と清掃が徹底されている。	44.4%	37.0%	18.5%	0.0%	81.4%
P T A や同窓会と連携した活動が計画的に行われている。	63.9%	33.3%	3.7%	0.0%	97.2%
シラバス等に基づいて適切な授業が行われている。	74.1%	25.9%	0.0%	0.0%	100.0%
生徒の学習意欲や態度に満足している。	51.9%	44.4%	3.7%	0.0%	96.3%
生徒のニーズに応じた授業改善に取り組んでいる。	59.3%	40.7%	0.0%	0.0%	100.0%
共感的理解に基づく指導や支援が行われている。	59.3%	40.7%	0.0%	0.0%	100.0%
生徒が相談しやすい教育相談体制が整備されている。	59.3%	37.0%	3.7%	0.0%	96.3%
生徒会・委員会・部活動が活発に行われている。	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	100.0%
生徒一人ひとりに応じた進路指導が行われている。	81.5%	18.5%	0.0%	0.0%	100.0%
生徒・保護者への進路に関する情報提供が適切である。	55.6%	40.7%	3.7%	0.0%	96.3%
ポートフォリオ等を活用し学習活動を深めている。	48.1%	48.1%	3.7%	0.0%	96.2%

【課題等】

「教育目標の達成に向けて生徒が充実した学校生活を送っている」は、生徒の90.8%、保護者の89.9%が肯定的な回答をしており、本校の教育活動全般に対して満足していると思われる。

「学校はいじめや暴力のない安全・安心な場所である」は、生徒の92.7%、保護者の92.8%が肯定的な回答をしており、学習環境は整っていることを示している。

「生徒会・委員会・部活動が活発に行われている」は、生徒の94.8%、保護者の94.0%が肯定的な回答をしており、生徒の主体的な取り組みを支援している表れである。

「生徒のニーズに応じた授業改善に取り組んでいる」は、生徒の77.5%、保護者の77.9%の%が肯定的な回答をしているが、教職員の自己評価とのギャップが大きく、生徒のニーズを適切に把握したうえでの授業改善が必要である。

「共感的理解に基づく指導や支援が行われている」は、生徒の85.6%、保護者の84.3%が肯定的な回答をしている。生徒一人ひとりの存在が認められている学校や学級の風土を形成し、生徒の自己肯定感を育む。

「生徒・保護者が相談しやすい教育相談体制が整備されている」は、生徒の79.6%、保護者の74.2%が、肯定的な回答をしているが、早期からの教育相談を一層充実させる。

「進路に関する情報提供が適切である」は、生徒の91.1%が肯定的な回答をしているのに対し、保護者の肯定的な回答が71.8%と低く、生徒と保護者とのギャップが大きく、保護者への情報提供を強化する必要がある。

「ポートフォリオ等を活用し学習活動を深めている」は、生徒の80.6%、保護者の78.6%が肯定的な回答をしているが、効果的な指導方法について研究を進める。

「教育目標の達成に向けて生徒に育みたい資質や能力について理解して取り組んでいる」は、教職員の100%が肯定的な回答をしており、ミドル・アップダウン・マネジメントが機能していると思われる。

【対策】

- 1 教育内容を教科等横断的な視点で組み立て、学校設定教科を柱に、特別授業・探究活動・体験活動を実践し、学校の特色を生かしたカリキュラムマネジメントを実現する。
- 2 クラッシーを活用し、生徒による授業評価アンケートを学期に1回実施し、教職員にフィードバックして生徒のニーズに対応する。
- 3 入試情報や進学費用など具体的な内容を伝える学年別保護者対象進路ガイダンスを年2回実施する。